

第16期第2回 長野市緑を豊かにする委員会 会議録

開 催 日 時	令和8年6月10日(水) 午後3時から
開 催 場 所	長野市役所第二庁舎10階 会議室201
委 員 出 席 者	委員11名(欠席4名)
傍 聴 者	報道機関2名
事 務 局 出 席 者	都市整備部長ほか公園緑地課職員4名
公 開 ・ 非 公 開	公開
次 第	会議次第 1 はじめに 2 委員長あいさつ 3 長野市あいさつ 4 新委員の紹介 5 諮 問 ・ 長野市緑を豊かにする計画の改定について 6 議 事 (1) 長野市緑を豊かにする計画の改定について (2) 報告事項 ・ 篠ノ井中央公園における P-PFI による軽飲食店の設置に関する公募設置等指針の公表について ・ 茶臼山動物園再整備事業の進捗について ・ 保存樹木の指定解除について (3) その他 7 その他 8 閉 会
諮 問	【要旨】 長野市緑を豊かにする計画の改定について市長(代理で都市整備部長)から長野市緑を豊かにする委員会委員長に諮問を行った。
議 事	議事を進行させていただきます。円滑な会議の進行にご協力をお願いします。 議事(1)の長野市緑を豊かにする計画の改定について、事務局から説明をお願いします。
(事 務 局)	資料1により説明
(委 員 長)	長野市緑を豊かにする計画の改定について、委員の皆様からご意見ご質問等ございますか。

(委 員)	計画改定が本格的に始まっていくと思うが、長野県は令和8年度から第2期となる信州まちなかグリーンインフラ推進計画の策定を行っており、ぜひ関連する項目を緑の計画に入れていただきたい。
(委 員 長)	国の「グリーンインフラ推進戦略 2023」など、日本は非常に災害が多い国だが、土砂の流出や洪水等を防ぎながら、河川や山の環境をどう活用していくかということもこの緑の計画の中に入ってくるということだが、事務局から何か。
(事 務 局)	国の基本方針の中でも、緑を社会資本ととらえるグリーンインフラの推進と生物多様性への配慮が重要な項目となっている。県の指導を受けながら重点的に計画に盛り込みたい。
(委 員 長)	市民 1 人当たりの都市公園面積を 7.68m ² から 10m ² に上げたいということだが、人口減少社会で、公園の面積を増やせば、それに伴って管理コストもかかるということになり、省力化というようなことが一つの課題になると思う。そういうことも盛り込みながら、計画の改定を行うこととなるか。
(事 務 局)	指標自体が、人口が増加し公園の建設が活発だった頃のを継続している部分があり、改定の際には、指標の見直しも考えられる。委員会のご意見を聞きながら検討したい。
(委 員 長)	公園の面積だけではなく、緑の質も問われる。長野市は緑豊かな公園も多いので、ぜひ質の高い緑地空間をつくり出したり、保全したりということに、計画の重点を置いていただきたい。
(事 務 局)	国も、いわゆる建設中心からストックのマネジメント、利活用にシフトしていくということが必要と言われている。篠ノ井中央公園での民間活力を導入した Park-PFI の取り組みもその活用の一つ。 また、今の人口推計で行くと 2050 年辺りで、一人当たりの都市公園面積 10m ² を達成するものと予測しているが、必要な公園はしっかりと存続させて、地域の皆さんに利用しやすい公園を目指しながら、公園の再整備を進めていかなければいけないと考えている。
(委 員 長)	人が減る中で、マネジメントは資金、人手が必要。質の担保ということで、長野市の環境を生かしたプランニングをお願いしたい。
(委 員)	県でグリーンインフラを推進するための予算があると思う。県と連携して進め

	ていただきたい。
(事 務 局)	市は現在も県のグリーンインフラ関係の補助金を活用している。県の補助金の財源は長野県森林税で、限られた財源の中だがこれからも支援をいただいて進めていく。
(委 員 長)	私の地域でも、森林税を活用したいがどのように進めていけば分からないという話も聞く。一方、森林税の使途に困っているというような行政の方からの話もある。ここをつなぐ、仕組みはないものかと思っている。都市公園にも林地が含まれているので、森林税をどう活用できるかというところを検討してほしい。
(事 務 局)	県と情報共有しながら、研究していきたい。
(委 員)	人口減少問題から、子どもたちの人数は年々減っていくが、今の時代公園で遊ぶ子どもたちが減っているのも事実。公園はとても大事で必要だと思うが、例えば温暖化の関係でも温暖化対策、熱中症対策も含めて 10 年先を考えたときに、公園のあり方は変わらと思う。難しいと思うが、様々な可能性を考えて、子どもたちも含めて、どんな年齢の方も集えるような公園に、地域の公園も変わっていくと良いと思う。
(事 務 局)	まさに人口減少に係る中で、公園をどう存続していくかは大きな宿題。一つ一つの公園のあり方、今後の管理、マネジメントについて地域の皆様にお聞きしながら順次進めていく必要があると考えている。
(委 員)	親御さんと話をしていると、「ちょっと公園って危ないよね」という話を聞く。遊んでいる子どもたちが少なく、子どもたちだけで遊ばせるのは不安という声、暑い時期だと滑り台は危ない、火傷するという様な声も聞く。この時代に合った公園ということで、どんどん形を変えていってほしいと思う。
(事 務 局)	公園で遊ぶ子どもが減っているが、一方でながの花と緑大賞に応募していただいているような、緑と積極的に関わる方も多い。これからは、いかに子どもたちを緑や土に近づけていくかが大事だと思う。緑育を子供たちが緑や土に直接ふれる体験を進めるような方向性に変えることも考えている。
(委 員 長)	子育て支援の一環としても、身近に赤ちゃん連れの家族が安心して過ごせる野外空間は必要だと思う。私が子どものときにも安心して走り回れる場所が周りにあったし、人間が育つ上ではそういう環境が一番大事で、そのよう

	な空間を維持していくのは、子育て支援の一つと思う。 現金給付も重要かもしれないが、近くにそういう公園がある、安心して子どもと過ごせる公園がある場所に住みたという世帯はこれからもあるので、そういう親子を増やしていくことが国のあり方の根幹にも響く、とても大事なことと思う。 ニューヨークのセントラルパークのように海外からも集客できるような公園があるように、長野市でも駅前から善光寺までの新しいプランを考えていると思うが、一方では子育て支援のための公園のあり方、また、新しいニーズに対応した公園のあり方等、様々な側面から公園は必要とされている。ぜひ市には頑張っていたきたい。
(事 務 局)	先ほどグリーンインフラの話題が出たが、現行の県のまちなかグリーンインフラ推進計画の長野エリアの計画は長野駅周辺のみを対象区域としていたが、今回の改定で善光寺周辺から城山公園も含めて対象区域を広げる。グリーンインフラ推進計画はアクションプランに近い 5 か年計画なので、具体的な取り組みを行っていきたい。
(委 員)	城山公園は素晴らしく、年配の方、家族連れ、高校生、学生たちが利用している。このような公園ができていくと、人と人との関わり、コミュニケーションが増えると思う。自然を身近に感じて生活できるのは長野の魅力だと思う。期待している。
(委 員)	私が住んでいる地域ではオオキンケイギク、ケシの仲間など特定外来生物が非常に増えていて、河川敷や公園にも入っている。 国道でも秋になるとセイタカアワダチソウなどが増えることは生物多様性にとって非常に問題。景観を形成するためには、除外すべきものもあると思う。
(事 務 局)	現計画では生物多様性や外来生物、在来種の問題について触れているところが少ないが、今後、環境基本計画とも整合しながら改定するので、そのような記載は増えるものと考えております。
(委 員 長)	私は特定外来生物などの植生管理が専門なので、いろいろと聞いていただければと思う。 離れた地域の出身者からすると、遊園地のように地域に隣接した緑地空間があることは良いことだと思ったが、人口減少でコミュニティを存続するのが難しくなり、管理ができない事例も増えているということで、社会の構造変化、公園とコミュニティのあり方の見直しも大きな課題と思う。

(事 務 局)	特に遊園地については、愛護会の活動が継続できないという意見があり、持続可能性の確保が課題であるという認識をしている。様々な課題解決に向けて短期で取り組めること、中長期的なことを整理しながら、また他都市の事例なども研究しながら、計画の改定に生かしていきたい。 また、都市整備部だけではなくて、森林・農林部、生物多様性については環境部の取り組みも必要になってくると今回の会議で再確認したので、横断的に連携しながらどう計画に反映できるか、また今後、業務委託での調査を進めて、委員の皆様にご意見をお聞きしながらまとめて行きたい。
(委 員 長)	他にご意見がないようでしたら、議事(1)に賛成の委員は挙手をお願いします。
(委 員)	(全員挙手)
(委 員 長)	ありがとうございます。次に、(2)の報告事項に移りたいと思います。
報 告 事 項	
(委 員 長)	篠ノ井中央公園における公募設置等指針の公表について、事務局より説明をお願いいたします。
(事 務 局)	資料2により説明。
(委 員 長)	委員の皆様からのご意見、ご質問はありますか。(意見なし)
	茶臼山動物園再整備事業の進捗について、事務局よりご説明をお願いいたします。
(事 務 局)	資料3により説明。
(委 員 長)	長野市はタイガ地域と比べると夏はかなり暑いが、植栽は大丈夫か。
(事 務 局)	樹種は、アカエゾマツやドイツトウヒなど。ロシア、中国にみられるものと近いものを選定してるが、長野の環境でも生育可能なものを選んでる。それ以外に、季節感を出すためにエゴノキ、ギボウシなどの花が咲くものを植栽している。クマザサも植栽しており、クマザサをかき分けてトラが出てくる様子が見れることを期待している。
(委 員 長)	最後に、保存樹木の指定解除について、事務局から説明願います。

(事 務 局)	資料4により説明
(委 員 長)	委員の皆様からのご意見、ご質問はありますか。(質問なし) 次に、(3)のその他になりますが、事務局から何かありますか。(なし) いただいた議案及び報告事項につきましては、すべての審議が終了しました。これにて議長を退任したいと思います。議事の円滑な進行にご協力いただきありがとうございました。